

大腸癌患者さんにおける臨床データ作成のための前向き多機関共同研究について

1. 研究の対象

当院において大腸癌と診断され治療を受けた全ての患者さん

2. 研究目的・方法

・本研究の目的は、大腸癌患者さんに関する日常診療データを前向きに登録し、臨床データベースを作成し、様々な医学研究に利活用することです。

・本研究は大阪大学大学院と大阪大学消化器外科共同研究会大腸疾患分科会に参加する多機関共同の前向き観察研究です。当院も大阪大学消化器外科共同研究会大腸疾患分科会のメンバーとして、本研究に参加しています。

参加施設については、大阪大学消化器外科関連施設一覧

(<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/gesurg/clinical..html>)

をご確認ください。

・本研究は川崎病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受けておこなわれます。

研究期間：臨床研究倫理審査委員会承認日から 2033 年 3 月 31 日

研究責任者：谷川 隆彦（副院長兼外科総括部長）

3. 研究に用いる情報の種類

日常診療で得られた以下の診療情報を収集します。

- ・患者さんの基本的臨床情報（性別、生年月日、既往歴、家族歴等）
- ・血液や画像などの検査所見等
- ・治療歴
- ・手術所見
- ・病理的組織学的所見
- ・治療方法、治療経過
- ・予後等

4. 秘密保護

調査により得られたデータを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮します。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

施設名：川崎病院 外科 電話：078-511-3131

研究担当者：谷川 隆彦（副院長兼外科総括部長）